

公益社団法人日本精神科病院協会会長 殿

厚生労働省医政局地域医療計画課長



「疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制について」の正誤表の送付について

標記について、別添のとおり各都道府県衛生主管部(局)長あてに通知しましたので、ご了知方よろしくお願いいたします。

医 政 地 発 0715 第 2 号 令 和 2 年 7 月 15日

各都道府県衛生主管部(局)長 殿

厚生労働省医政局地域医療計画課長 (公 印 省 略)

「疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制について」の正誤表の送付について

このことについて、「「疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制について」の一部 改正について」(令和 2 年 4 月 13 日付け医政地発 0413 第 1 号厚生労働省医政局地域 医療計画課長通知)により、「疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制について」( 平成 29 年 3 月 31 日付け医政地発 0331 第 3 号厚生労働省医政局地域医療計画課長通知 )の一部改正を行ったところですが、その一部に誤植等があったことから、別添のと おり正誤表を送付するので御了知願います。

(別紙)

疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制構築に係る指針

## 第3 手順

### 1 情報の収集

都道府県は、医療体制を構築するに当たって、患者動向、医療資源及び医療連携等の医療体制に関する情報等を収集し、現状を把握する必要がある。

医療提供体制等に関する情報のうち、地域住民の健康状態やその改善に寄与すると考えられるサービスに関する指標(重点指標)、その他国が提供するデータや独自調査データ、データの解析等により入手可能な指標(参考指標)について、指標間相互の関連性も含めて、地域の医療提供体制の現状を客観的に把握する。

なお、重点指標及び参考指標については、厚生労働科学研究「<u>地域の実情に応じた</u> 医療提供体制の構築を推進するための政策研究」研究報告書及び厚生労働科学研究

「持続可能で良質かつ適切な精神医療とモニタリング体制の確保に関する研究」研究報告書を参考とすること。

また、既存の統計・調査等のみでは現状把握ができない場合、医療施設・関係団体等に対する調査や患者・住民に対するアンケート調査、ヒアリング等、積極的に新たな調査を行うことが重要である。

誤

(別紙)

疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制構築に係る指針

### 第3 手順

### 1 情報の収集

都道府県は、医療体制を構築するに当たって、患者動向、医療資源及び医療連携等の医療体制に関する情報等を収集し、現状を把握する必要がある。

医療提供体制等に関する情報のうち、地域住民の健康状態やその改善に寄与すると考えられるサービスに関する指標(重点指標)、その他国が提供するデータや独自調査データ、データの解析等により入手可能な指標(参考指標)について、指標間相互の関連性も含めて、地域の医療提供体制の現状を客観的に把握する。

なお、重点指標及び参考指標については、厚生労働科学研究「病床機能の分化・連携や病床の効率的利用等のために必要となる実施可能な施策に関する研究」研究報告 書及び厚生労働科学研究「持続可能で良質かつ適切な精神医療とモニタリング体制の確保に関する研究」研究報告書を参考とすること。

また、既存の統計・調査等のみでは現状把握ができない場合、医療施設・関係団体等に対する調査や患者・住民に対するアンケート調査、ヒアリング等、積極的に新たな調査を行うことが重要である。

(別表)

別表1 がんの医療体制構築に係る現状把握のための指標例

		予防·早期発見		治療			療養支援
r.		禁煙外来を行っている医療機関数	•	がん診療道機関点病院数		•	末期のかん患者に対して在宅医療を提供する医療機関数
				認定看護師が配置されている拠点病院の割	合		麻業小売集免許取得業局數
ストラク				専門・認定業前師が配置されている拠点病院の	割合		相談支援センターを設置している医療健闘数
チャー				放射線治療・薬物療法・リハビリテーション専門医が 配置されている毛直側院の割合	hί		緩和ケア病療を有する病院数・病床数
			•	地域がん診療病院数			<b>値和ケアデームのある医療機関数</b>
				がんリハビリテーション実施医療機関数			外来種和ケア実施医療機関数
Н	•	がん検診受診率		診療ガイドラインに基づく治療実施割合		0	がん意者指導の実施件数
		奥煙率		悪性腫瘍特異物質治療管理料の算定件数		•	入院組和ケアの実施件数
		ニコチン依存症管理料を算定する患者数 (診療報酬ごと)		外来化学療法の実施件數		•	外来緩和ケアの実施件数
		ハイリスク飲酒者の割合		放射線治療の実施件数	Ť	0	がん性字痛緩和の実施件数
加セス		運動習慣のある者の割合		悪性腫瘍手術の実施件数			在宅がん医療総合診療料の算定件数
/P EX		野菜と果物の摂取量		衛中迅速病理組織標本の作製件数			
		金塩摂取量	Į.	病理組織循本の作製件数			
		公費肝炎接查実施教		がんリハビリテーションの実施件数			
		公實肝炎治療關始者數		地域連携グリティカルバスに基づく診療計画業定等実施件	lt .		
		ion in Indiana.		地域連携クリティカルバスに基づく診療提供等実施料	數	J-	
	•	年計調整權惠率	•	がん患者の年齢調査死亡率			がん患者の在宅死亡割合
アウトカム		罹患者敦			がん患	者の死亡	- 首教
		早期がん発見率		提点病院で治療を受けたがん患者の5年生存率		h	K II S CH

(●は重点指標)

令和元年度厚生労働科学研究「<u>地域の実情に応じた医療提供体制の構築を推進するための政策</u>研究」研究報告書より引用

誤

(別表)

別表1 がんの医療体制構築に係る現状把握のための指標例

	予防·早期発見		治療		療養支援
	禁煙外来を行っている医療機関数	•	がん診療連携側直病院数	•	末期のがん患者に対して在宅医療を提供する医療機関数
			認定看護師が配置されている拠点病院の割合		麻薬小売業免許取得薬局数
ストラウ			専門・認定業剤師が配置されている拠点病院の割合		相談支援センターを設置している医療機関数
チャー			放射量治療・薬物療法・リハビリテーション専門医が 配置されている私点病院の割合		緩和ケア病種を有する病院数・病床数
		•	地域がん診療病院数		緩和ケアチームのある医療機関数
			がんリハビリテーション実施医療機関数		外来緩和ケア実施医療機関数
	が人検診受診率		診慮ガイドラインに基づく治療実施割合	•	がん患者指導の実施件数
	與煙率		悪性腫瘍特異物質治療管理料の算定件数	•	入院線和ケアの実施件数
	ニコチン依存症管理料を算定する患者数 (診療報理ごと)		外来化学療法の実施件数	0	外来緩和ケアの実施件數
Par.	ハイリスク飲酒者の割合		放射維治療の実施件数		がん性疼痛緩和の実施件数
	運動習慣のある者の割合		悪性遺瘍手術の実施件数		在宅がん医療総合診療料の算定件数
ブロセス	野菜と果物の摂取量		<b>特中迅速病理組織標本の作製件数</b>		
4-6	食塩摂取量		病理組織標本の作製件数	ď	
4	公費肝炎檢查実施數		がんリハビリテーションの実施件数		
	公費酐炎治療開始者數		地域連携クリティカルバスに基づ大部位計画繁定等実施件数		
	own balance		地域連携クリティカルバスに基づく診療提供等実施件数		halfbo dailing
	年齡調整罹患率	•	がん患者の年齢調整死亡率		がん患者の在宅死亡割合
プウトカム	罹患者效		がん趣	昔の死で	亡者數
	早期がん発見率	H	<b>個点病院で治療を受けたがん患者の5年生</b> 存率		reg a pa

(●は重点指揮)

<u>平成31</u>~今和元年度厚生労働利学研究「病庆機能の分化、連携や病庆の効率的利用等のために必要となる実施可能な施策に関する研究」研究場合書より引用

表 2	脳卒中の医療体制	<b>構築に係る現状把握</b>	正のための指標例			別表2	脳卒中の医療	休制機	<b>繁に係る現状把</b>	屋の	誤 ための指標例		
	予防	枚護	急性期	回復期	維持期	7732 2	予防	r <del>i-</del> inari	教護	±0)	急性期	回復期	維持期
	禁煙外来を行っている 医療機関数	7AIX	神経内科医師教・ 脳神経外科医師教		48,1974)		禁煙外来を行っている 医療機関数	3	7AeN		神経内科医師戲・ 脳神経外科医師戲	E LE M	(E)17#1
ŀ <del>5</del> ⁄2			脳卒中の専用病室を有する 病院数・病床数			ストラク					脳卒中の専用病室を有する 病院数・病床数		
÷+-			脳梗塞に対するt-PAによる 血栓溶解療法の実施可能な 排院数			チャー					脳梗塞に対するHPAによる 血栓溶解療法の実施可能な 病院数		
		-	1)/	ピリテーションが実施可能な医療機	関数							リハビリテーションが実施可能な医	<b>東機関教</b>
	奥煙車	脳血管疾患により教急搬送 された患者数(再掲)	● 脳梗塞に対するt-PAによる 血栓溶解療法の実施件数				<b>奥煙</b> 率		脳血管疾患により教急撤送 された患者数(再掲)	•	転模塞に対するt-PAによる 血栓溶解療法の実施件数		
	ニコチン依存症管理料を 算定する患者数(診慮報酬ごと)		脳梗塞に対する脳血管内治療 (経皮的脳血栓回収術等)の 実施件数				ニコチン依存症管理料 算定する患者数(診療報酬				脳梗塞に対する脳血管内治療 (軽皮的脳血栓回収指等)の 実施件数		
	ハイリスク飲酒者の割合		くも展下出血に対する脳動脈瘤 クリッピング柄の実施件数				ハイリスク飲酒者の割	A			くも腰下出血に対する脳動脈瘤 クリッピング術の実施件数		
ロセス	健康診断の受診率		くも腰下出血に対する脳動脈瘤 コイル宮栓術の実施件数			プロセス	健康診断の受診率			T	〈も腰下出血に対する脳動脈瘤 □イル富性術の実施件数		
	高血圧性疾患患者の 年齢調整外来受患率		脳卒中患者に対する喉下	盤能訓練の実施件数			高血圧性疾患患者の 年齢調整外来受療率				脳卒中患者に対する側	下機能調練の実施件数	
	脂質異常症患者の 年齢調整外来受慮率		<b>阿</b> 辛中	患者に対するリハビリテーションの実	<b>x</b> 範件數		脂質異常症患者の 年齢調整外来受療率				lá á	4中島者に対するリハビリテーション	の実施件数
			<b>嚴</b> 卒中	者における地域連携計画作成等の	実施件徵						版卒	中患者における地域連携計画作成	等の実施件数
•	脳血管疾患により 教急搬送された患者数	教息要請(覚知)から医療機関 への収容までに要した平均時間	■ 過烷患者平均	在院日數			■ 関血管疾患により 救急搬送された患者		教急要請(覚知)から医療機関 への収容までに要した平均時間	•	道院患者平	均在院日数	
<b>አ</b> ለተና		脳血管疾患により救急輸送 された患者の圏域外への輸送率	•	宅等生活の場に復帰した患者の割	<b>A</b>	アウトカム			脳血管疾患により教急搬送 された患者の圏域外への搬送率	•		在宅等生活の場に復帰した患者	の割合
			脳血管疾患患者の年齢量整死亡率								脳血管疾患患者の年齢調整死亡率		
(は重点指揮)	41. 10	10.00	令和元年度厚生労働科学研究「 <u>地域の実情</u> 」。	たいれ 医血機併分割の機能を促進す	- 7.4. よの事件直水 , 西水和火金 L(131B)	(●は重点	16)		<b>亚产心 / △加</b> 二元本管工型型型型	44.27F mb-1	「病床機能の分化・連携や病床の効率が	1.15回旋点上出版为至1.4.1产品。	to a large of the state of the

表3	心筋梗塞等の心血	1.管疾患の医療体制構	正 築に係る現状把握の	ための指標例		別表3	心筋梗塞等の心血	1管疾患の医療体制構象	誤いに係る現状把握の	ための指標例	
T	予防	校園	急性期	回復期	慢性期·萬発予防		予防	ħā.	急性期	四位期	<b>祖性期·再発予防</b>
	禁煙外来を行っている 医療機関数		循環器内科医師教 心機血管外科医師教				禁煙外来を行っている 医療機関数		通理器內科医師教· 心教皇管外科医師教	muschija	
- <del>5</del> 7	I THE ST	+ 222	心臓内科系集中治療室(CCU) を有する病院数・病床数			לדוג		- 11212	ら親内科系集中治療室(CCU) を有する病院数・病体数		
F4F—	it.		心觀血管外科手術が 実施可能な医療機関数	-11		7*-		-	心臓血管が料手術が 実施可能な医療機関数		
			Ó	血管疾患リハビリテーションが実施可能な医	i dik				óá	自管疾患リハビリテーションが実施可能な医	RUMB
	专领率	建血性心疾患により表急難送 された患者放(再掲)	急性心筋視害に対する 程度的記熱脈インターベンションの実 施件数				<b>奥姓</b> 菲	産業性心疾患により数急調送 された患者数(再階)	急性心筋梗塞に対する 軽皮的溶動脈インターベンションの実 施件数	ROF T	
	ニコチン依存在管理料を固定 する患者後(診査報酬ごと)	ら脚端配停止偏側滑(心地停止を滑)金剛 進人員のうち、一般市民により帰題最が実施 された枠板	来院後90分以内の 因動脈再開直達成率		=		ニコチン依存症管理料を原定 する患者数(診査傾回ごと)	<ul> <li>○ 勝城監停止偏明者(心場停止を者)金費 送入員のうち、一般市民におり取組数が実施 された件数</li> </ul>	来院後90分以内の 刃動脈再翻通速成率		
uta -	健康診断の受診率		虚血性心疾患に対する 心臓血管外科手術件数			カセスー	健康診断の受診率		虚血性心疾患に対する 心臓血管外科手術件数		
- 5	高血圧性疾患患者の 年動調整外来受機率	- Comm	入院心血管疾患リハ	ビリテーションの実施件数			高血圧性疾患患者の 年齢調整外來受慮率	l=r2(green	De la la	ジリテーションの実施件数	
	<b>職質異常企思者の</b> 年齢調整外来受機率			外来心血管疾患り	ハビリテーションの実施件数		職費男常在患者の 年齢調整外来受使率			外来心血管疾患少	ハビリテーションの実施件数
			đạt.	生心疾患患者における地域連携計画作成等	の実施件数					らの疾患患者における地域遺憾計画作成等	の実施件数
Z,	自由性心疾患により 和急慢送された患者数	● 教念要請(覚知)から医療機関 への収容までに要した早均時間	退院息者	平均在院日數			虚血性心疾患により 物を描述された患者他	● 教急要請(覚知)から医療機関 への収容までに要した平均時間	Light	平均在院日敷	1 2
) Add	II and	産曲性心疾患により救急膨送 された患者の間域外への搬送率		● 在宅等生活の場	に登場した患者の割合	77114		虚血性心疾患により数急強送 された患者の囲転外への搬送率	line.	● 在宅等生活の場	に復興した患者の割合
			虚血性心疾患患者の年齢調整死亡率						産血性心疾患患者の年齢調査死亡率		
は重点指揮			全和元年度置件營養減益確定[編	    よの実情になじた医療提供体制の情景を	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	(●は重点指揮)		平成31/令和元年度至中学	M科学研究「病生機能の分化・運搬や病生	の効果的利用等のために必要となる実施。	『能な接筆に関する研究』研究報告書

			正			
表4	糖	尿病の医療体制構築	に係る現状把握のための指	標例		
		予助	初期·安定期	合併症予防を含む専門治療		合併症治療
	•	特定健診受診率	糖尿病内科(代謝内科)医師數	教育入院を行う医療機関数		特尿病性腎症の管理が可能な 医療機関数
		特定保健指導実施率	糖尿病内科(代謝内科) 標榜医療機関数	糖尿病専門医数		糖尿病足病変の管理が可能が 医療機関数
ストラク				腎臟専門医數		糖尿病網膜症の手術が可能が 医療機関数
チャー				糖尿病登録医/瘦養指導医		善周病専門医数
				糖尿病療養指導士數		糖尿病登録歯科医師教
				糖尿病看護認定看護師数		
				「型糖尿病に対する専門的治療を行う医療 機関数		
			糖尿病患者の年齢調査外来受機率	糖尿病透析予防指導の実施件数	•	糖尿病性腎症に対する 人工透析実施件数
			HbA1c接査の実施件数	在宅インスリン治療件数	•	糖尿病足病変に対する管理
			医療機関・健診で糖尿病と言われた者のう ち、治療を受けている者の割合	*	•	糖尿病網膜症手術数
£., .			尿中アルブミン(定量)検査の実施件数			
加セス			クレアチニン検査の実施件数			
			精密眼底検査の実施件数			
			血糖自己測定の実施件数			
			内服薬の処方件数			
			外来栄養食事指導料の実施件数			
		糖尿病予備群の者の数		低血糖患者数		
'ウトカム		糖尿病が強く疑われる者の数		糖尿病性ケトアシドーシス、 非ケトン各種患者数		糖尿病患者の新規下肢切断術の

(●は重点指揮)

令和元年度原生労働科学研究「<u>地域の実情に応じた医療提供体験の構築を推進するための政策</u>研究」研究報告書より引用

新規人工透析導入患者數

誤

別表4 糖尿病の医療体制構築に係る現状把握のための指標例

		予防	初期・安定期	合併症予防を含む専門治療		合併症治療
	•	特定健診受診率	糖尿病内科(代謝内科)医師数	教育入院を行う医療機関数		糖尿病性腎症の管理が可能な 医療機関数
		特定保健指導実施率	糖尿病内科(代謝内科) 標榜医療機關数	港尿病専門医数		徳尿病足病変の管理が可能な 医療機関数
ストラク				腎臓専門医数		糖尿病綱膜症の手術が可能な 医療機関数
チャー	4			糖尿病登録医/療養指導医		歯周病専門医数
				糖尿病療養指毒士數		糖尿病登録曲科医師數
				糖尿病看護認定看護師數		
				1型糖尿病に対する専門的治療を行う医療 機関数		
			糖尿病患者の年齢調整外来受棄率	糖尿病透析予防指導の実施件数	•	糖尿病性腎症に対する 人工透析実施件数
			HbA1c検査の実施件数	在宅インスリン治療件数	0	糖尿病足病変に対する管理
			医療機関・健診で糖尿病と言われた者のうち、治療を受けている者の割合	-	•	糖尿病酮原症手術数
			尿中アルブミン(定量)検査の実施件数			
プロセス			クレアチニン検査の実施件数			
			精密眼底接査の実施件数			
			血糖自己測定の実施件数			
			内服薬の処方件数			
			外来栄養食事指導料の実施件数		.2	
	L I	糖尿病予備群の者の数	_	低血糖患者数		
アウトカム		糖尿病が強く疑われる者の飲	(T1000000000000000000000000000000000000	糖尿病性ケトアシドーシス、 非ケトン昏睡息者数		糖尿病患者の新規下肢切断術の件数
	Î	-	● 新規人工透	F重入患者的		糖尿病患者の年齢調整死亡率

(●は重点指揮)

平成31<u>/</u>令和元年度軍生労働科学研究「<u>病法機能の分化・連携や病法の効率的利用等のために必要となる実施可能な施策に関する</u>研究」研究報告書より引用

種尿病患者の年齢調整死亡率

#### 正 誤 別表6 救急医療体制構築に係る現状把握のための指標例 別長6 救急医療体制構築に係る現状把握のための指標例 救護 初期教急医療 教命後の医療 教命医療 入院教急医療 初期教急医療 教命後の医療 救護 救命医療 入院教急医療 転棟・退院調整をする者を 転車・退院調整をする者を 運用教急教命士数 救急担当専任医師数·看護師数 初期教急医療施設数 常時配置している 救急担当專任医師數·看護師數 初期教急医療施設数 常時配置している 運用教急教命士教 教命教急センターの教 教命教象センターの教 一般診療所の 一般診療所の 住民の教急蘇生法の受講率 教命教急センター数 住民の教急蘇生法の受講率 教命教急センター数 2次教急医療機関数 2次教急医療機関数 初期教急医療への参画率 初期教急医療への参画率 特定集中治療室のある 特定集中治療室のある ストラク **ストラウ** 教急車の運用数 救急車の運用数 医療機関数 医療機関数 教急搬送人員数 救急搬送人員數 AEDの設置台数 AEDの設置台数 心肺機能停止傷病者(心肺停止症 心論理能停止傷病者(心論停止影 緊急入院患者における 養急入院患者における 者)全掛送人員のうち、 教命教象センター 者)全般進入真のうち、 救命教急センター 退院調整・支援の実施件数 一般市民により幹細動が 一般市民により幹絶重が 充実段階評価S及びAの割合 退院調整・支援の実施件数 充実段階評価S及びAの割合 実施された件数 実施された件数 教急軍の受入件数 教急車の受入件数 転院搬送の受入件数 転院搬送の受入件数 プロセス アセス 転院搬送の実施件数 転院搬送の実施件数 教急要請(覚知)から教急医復種関への 教急要請(覚知)から教急医療機関への 搬送までに要した平均時間 構送までに要した平均時間 受入困難事例の件數 受入困難事例の件数 2次教急医療機関等の教急医療機関やかかりつけ医、介護施設等の関係機関が参加したメディカルコントロール協議会や多職種連携会議等の開催回数 2次枚急医療機関等の救急医療機関やかかりつけ医、介護施設等の関係機関が参加したメディカルコントロール協議会や多職種連携会議等の関権回数 心肺機能停止傷病者(心肺停止患者)の一ヶ月後の予後 アウトカム 心肺機能停止傷病者(心肺停止患者)の一ヶ月後の予後 アウトカム (●は重点指揮) (●は重点指標) 平成31/今和元年度厚生労働科学研究「病床機能の分化・連携や病床の効率的利用等のために必要となる実施可能な推議に関する研究」研究報告書より引用 令和元年度軍生労働科学研究「<u>地域の実情に応じた医療提供体験の構築を推進するための政策</u>研究」研究報告書より引用

		災害時に拠点となる病院		災害時に拠点となる病院以外の病院	都道府県
		9	院の耐震	化率	医療活動相互応援能勢に関わる応援協定等を 締結している都道府県数
<b>ミトラク</b>			•	災害拠点病院以外の病院における	DMAT、DPAT等の緊急医療チーム数 及びチームを構成する医療従事者数
F <del>v</del> -		複数の災害時の通信手段の確保率	•	広域災害・教急医療情報システム(EMIS)への登録率	災害医療コーディネーター任命者数
		多数協病者に対応可能なスペースを有する 災害拠点病院の割合			災害時小児周産網リエゾン任命者数
	•	EMISの操作を含む研	移・訓練を	実施している病院の割合	
	•		1	実施している病院の割合 3、暴辺府県医症本部で関係地間(消防、誓容、保健所、市町村等)、イ	公共略送機関等との連携の時限を行う災害関縁の実施国数
- 1		<b>災害時の医療チーム等の受入を想定し、都道府県災</b> 覧	<b>学対策本部</b>		
- ロセス -	•	災害時の医療デーム等の受入を想定し、都道府県災害 災害時の医療デーム等の受入を想定し、関係機関・団	B対策本部 本等と連続	4. 都道府県医療本部で関係地質(消防、量容、保健所、市町村等)、公	議のコーディネート観光の確認を行う災害訓練の実施回
- 1	•	災害時の医療デーム等の受入を想定し、都道府県災害 災害時の医療デーム等の受入を想定し、関係機関・団	B対策本部 本等と連続	<ol> <li>都道府県医復本部で関係機関(清防、誓容、保健所、市町村等)、介 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</li></ol>	議のコーディネート観光の確認を行う災害訓練の実施回
- 1	•	災害時の医療デーム等の受入を想定し、都道府県災害 災害時の医療デーム等の受入を想定し、関係機関・団 広域医療構造を想定し、都道府県災害対策本 被災した状況を想定した災害変動開練を	B対策本部 本等と連続	<ol> <li>都道府県医復本部で関係機関(清防、誓容、保健所、市町村等)、介 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</li></ol>	議のコーディネート観光の確認を行う災害訓練の実施回 連携の確認を行う災害訓練の実施箇所数及び回数 都選解集による医療従事者に対する

令和元年度厚生労働科学研究「<u>地域の実情に応じた医療提供体制の概集を推進するための政策</u>研究」研究報告書より引用

記

別表7 災害時における医療体制構築に係る現状把握のための指標例

		災害時に拠点となる病院		災害時に拠点となる病院以外の病院	都道府県
		賴	院の耐器	化率	医療活動相互応援修勢に関わる応援協定等を 締結している都道府県数
ストラク	•	災害拠点病院における象殊機械計画の策定率	•	災害拠点病院以外の病院における ・	DMAT、DPAT等の緊急医療ナーム数 及びチームを構成する医療従事者数
チャー		複数の災害時の通信手段の確保率	•	広域災害・教急医療情報システム(EMIS)への登録率	災害医療コーディネーター任命者数
		多数編集者に対応可能なスペースを有する 災害拠点病院の割合			災害時小児局産期リエンン任命者数
	•	EMISの機作を含む研削	・訓練を	実施している病院の割合	
	•	災害時の医療チーム等の受入を想定し、暴進府集災害	対策本部	5、零道府県医療本部で関係機関(浦防、晋家、保健所、市町村等)、公	公共輸送機関等との連携の残葛を行う災害無様の実施回数
ブロセス	•	1011	•	<ol> <li>暴遊府県医僚本部で関係理関(消防、晋家、保健所、市町村等)、介 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</li></ol>	
プロセス		災害時の医療チーム等の受入を想定し、関係機関・団体	,  等と連		議のコーディネート機能の確認を行う気害訓練の実施に
プロセス		災害時の医療チーム等の受入を想定し、関係機関・団体	,  等と連	集の上、保健所管轄区域や市町村単位等で地域炎客医療対策会	議のコーディネート機能の確認を行う宗書訓練の実施
プロセス		災害時の医療チーム等の受入を想定し、関係機関・団体 広域医療難送を想定し、都道府県災害対策本部 被災した状況を想定した災害実動訓練を	, 持衛と連門	集の上、保健所管轄区域や市町村単位等で地域炎客医療対策会	議のコーディネート機能の確認を行う交害訓練の実施! 連携の確認を行う災害訓練の実施箇所数及び回数 都選前県による医療従事者に対する

(●は重点指揮)

平成31/令和元年度軍生労働科学研究「<u>客店機能の分化・連携や病床の効率的利用等のために必要となる実施可能な施策に関する</u>研究」研究機会書より引用

### 別表8 へき地の医療体制構築に係る現状把握のための指標例

	<u></u>	へき地診療		へき地支援医療	<u></u>	行政機関等の支援
		へき地診療所数・病床数		へき地医療拠点病院数		へき動医療支援機構の数
		へき地における歯科診療所数		へき地医療に関して一定の実績を有するものとして 認定を受けた社会医療法人数		へき地医療支援機構の専任・併任担当官勢
ストラクチャー		過蘇地城等特定診療所数				へき地医療に従事する地域枠医師数
		へき地診療所の医師数				
<b>2</b>		へき地における医師以外の医療従事者数 (歯科医師、看護師、薬剤師等)				
	•	へき地における診療・運回診療の 実施日数	•	へき地医療拠点病院からへき地への 連回診療実施回数・日数・延べ受診患者数	•	協議会の関催回数
	•	へき地における訪問診底(歯科を含む)・ 訪問看護の実施日数	•	へき地医療拠点病院からへき地への 医師派遣実施回数・延べ派遣日数	•	協議会等におけるへき地の医療従事者 (医師、歯科医師、看護師、薬剤師等) 確保の検討回数
プロセス	•	へき地保健指導所の保健活動日数 及び対象者数	•	へき地医療機点病院からへき地への 代診医派遣実施回数・延べ派遣日数		
7			•	連隔医療等ICTを活用した 診療支援の実施状況		
			•	へき地医療拠点病院の中で主要3事業(※1)の 年間実績が合算で12回以上の医療機関の割合		
			•	へき地医療授兵病院の中でへき地医療授兵病院 の必須事業(※2)の実施回数が年間1回以上の 医療機関の割合		
ウトカム						

#### (条件會占指揮

- ※1 主要3事業 へき地医康毘点病院における①へき地への返回診療、②へき地診療所等への医師派遣、②へき地診療所等への代診医派遣
- ※2 必須事業:へき地医療拠点病院の事業の内、いずれかは必須で実施すべきとされている以下の事業
  - ・運回診療等によるへき地住民の医療確保に関すること。
- ・へき地診療所等への代診医等の派遣(継続的な医師派遣も含む)及び技術指導、援助に関すること。
- ・連隔医療等の各種診療支援に関すること。

令和元年度厚生労働科学研究「<u>地域の実情に応じた医療提供体制の機築を推進するための政策</u>研究」研究報告書より引用

# 誤

### 別表8 へき地の医療体制構築に係る現状把握のための指標例

	L.	へき地診療		へき地支援医療		行政機関等の支援
		へき地診療所数・病床数		へき地医療拠点病院数		へき地医療支援機構の教
		へき地における歯科診療所数		へき地医療に関して一定の実績を有するものとして 認定を受けた社会医療法人教		へき地医療支援機構の専任・併任担当官勢
ストラクチャー	4	追蘇地喊等特定診療所數				へき地医療に従事する地域枠医師数
		へき地診療所の医師数			١,	
		へき地における医師以外の医療従事者数 (歯科医師、看護師、薬剤師等)				
	•	へき地における診療・運回診療の 実施日数	•	へき地医療拠点病院からへき地への 返回診療実施回数・日数・延べ受診患者数	•	協議会の開催回数
	•	へき地における訪問診療(歯科を含む)・ 訪問看護の実施日教	•	へき地医療提点病院からへき地への 医師派遣実施回数・延べ派遣日数	•	協議会等におけるへき地の医療従事者 (医師、歯科医師、看護師、薬剤師等) 確保の検討回数
ブロセス	•	へき地保健指導所の保健活動日数 及び対象者数	•	へき地医康拠点病院からへき地への 代診医派遣夷施回数・延べ派遣日数		
7112			•	遠隔医療等ICTを活用した 診療支援の実施状況		
			•	へき地医療拠点病院の中で主要3事業(※1)の 年間実績が合算で12回以上の医療機関の割合		
			•	へき地医療提点病院の中でへき地医療提点病院 の必須事象(※2)の実施回数が年間1回以上の 医療種関の割合		- price
アウトカム						

### (●は重点指揮)

- ※1 主要3事業:へき地医療拠点病院における①へき地への返回診療、②へき地診療所等への医師派遣、②へき地診療所等への代診医派遣
- ※2 必須事業:へき地医療拠点病院の事業の内、いずれかは必須で実施すべきとされている以下の事業
  - ・運回診療等によるへき地住民の医療確保に関すること。
  - ・へき地診療所等への代診医等の派遣(難読的な医師派遣も含む)及び技術指導、援助に関すること。
  - ・連隔医療等の各種診療支援に関すること。

平成31/令和元年度早生労働科学研究「<u>書床機能の分化・連携や病末の効率的利用等のために必要となる実施可能な施策に関する</u>研究1研究報告書より引用

			正						
表9	周産期医療の医療体	制構築に低	系る現状把握のたる	めの指標例					
	低リスク分娩	地喊	司産期母子医療センター	総合周産期母子医療センター		療養·療育支援			
		産	科·産婦人科·婦人科医師數			乳幼児、小児の在宅医療・療育を 行う医療機関数			
ストラクチャー									
		アドバンス助産師教、新生児集中ケア認定着匯師教							
		分娩を取扱う医療機関の種別							
		ハイリスク妊産帰連携指導料1・2届出医療機関数							
			NICUを有す						
			NICU						
			GCUを有す						
			MFICUを有る						
			ハイリスク分娩管理加算届出医療機関数						
÷		<b>拿務總統計画</b> 策定医療機關數·策定割合							
	•		分娩数						
	直接訪問指導実施数		周產期母子医療七	ンターで取り扱う分娩数					
カセス			NIC	J入室児 <b>教</b>					
/ H LX			NICU · GC	U長期入院児数					
	0.0000	•	母体·新生児機造	教·都道府県内難送率					
	111.69	•	母体·新生児搬送數	のうち受入困難事例の件数		450			
	0		新生児死亡率		•	NICU·GCU長期入院児數(再播)			
'ウトカム	•	1	周產期死亡率						

災害時小児園産期リエゾン任命者数 \*災害医療の提供体制に係る指針及び指揮例との整合性に留意すること。

(●は重点指揮)

令和元年度厚生労働科学研究「<u>地域の実情に応じた医療提供体制の構築を推進するための政策</u>研究」研究報告書より引用

別表9 周産期医療の医療体制構築に係る現状把握のための指標例

		低リスク分娩	地域	周産期母子医療センター	総合周産期母子医療センター		療養·療育支援
			é	科·產場人科·婦人科医師教			見幼児、小児の在宅医療・産育を 行う医療機関数
				分娩を取扱う医師敷			_
				助產師數			
			アドバンスリ	前産師數、新生児集中ケア認定看記	師教		
			- 3	分娩を取扱う医療機関の種別			
ストラク チャー			ハイリスクリ	王産婦連携指導料1·2届出医療機	関数		
				NICUを有す	る病院数・病床数		
				NICU	専任医師数		
				GCUを有す			
				MFICUを有す			
		i dide					
	1	產後訪問指導実施數		開産期母子医療も	2ンターで取り扱う分娩数		
プロセス				NIC	J入室見数		
7077				NICU-GC	U長期入院児数		
			•	母体·新生児機能	· 数· 都道府県内搬送率		
			•	母体·新生児搬送數	のうち受入困難事例の件数		
			-	新生児死亡率		•	NICU·GCU長期入院児教(再掲)
アウトカム				周産期死亡率			
				好產場死亡數·死亡原因			

ストラク チャー ● 災害時小児周産期リエソン任命者数 \*災害医療の提供体制に係る指針及び指揮例との整合性に留意すること。

(●は重点指揮)

平成31/令和元年度軍生労働科学研究「病床機能の分化・連携や病床の効率的利用等のために必要となる実施可能な施策に関する研究」研究報告書より引用

表 10	小児医療の医療体制	<b>養築に係ろ現状把</b> 押	正			別表 1	n /	ト児医療の医療体制権	*・なる母状や#	設めための指標例		
10				-		7732 1	1					
	地域・相談支援等	一般小児医療	小児地域支援病院	小児地域医療センター	小児中核病院		Ļ	地域·相談支援等	一般小児医療	小児地域支援病院	小児地域医療センター	小児中核病院
•	子ども医療電話相談の 回輸数・相談件数	小児科を課 <b>榜する</b> 病院・診療所数	小児地域支援病院数	小児地域医療センター数	小児中接 <b>病院</b> 數		•	子ども医療電話相談の回線数・相談件数	小児科を観情する 病院・診療所数	小児地域支援病院數	小児地域医療センター数	小児中核病院數
トラク	小児の訪問診療を実施している 診療所・病院教	小児歯科を機械する 歯科診療所数			PICUを有する病院像・ PICU病床数	ストラク		小児の訪問診療を実施している 診療所・病院数	小児歯科を爆使する 歯科診療所数			PICU書有する病院数 PICU書床数
F+-	小児の訪問看護を実施している 訪問看護ステーション教		小児科医師戲	女(医療機関種別)		<u>-</u> 4-	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
			夜間・休日の小児科診察	度を実施している医療機関者			夜間・休日の小児科診療を実施している医療健康数					
	小児在宅人工呼吸器患者數	小児のかか	りつけ医受診率					小児在宅人工呼吸器患者數	小児のかか	小児のかかりつけ医受答率		
	小児の訪問診療を受けた患者製			我愈入院都會致				小児の訪問答慮を受けた患者教			教息入院患者數	
DEZ	小児の訪問看護利用者数		緊急気管揮	首を要した患者数		プロセス 小児の訪問看護利用者製			緊急気管博管を要した患者數			
			小児救急搬送症例の	うち受入困難事例の件数			•	小見教急		迷症例のうち受入困難事例の件数		
		特別児童技養手	当數、児童育成手当(障害手当)数、簡	害児福祉手当交付数、身体障害者手帳	交付數(18億未満)	1 15		特別児童扶養手当數、児童育成手当(障害手当)數、障害児福祉手当文付數、身体障害者手帳交付數(18億未滿)				付數(18億未滿)
	小児人口あたり 時間外外来受診回数	Victoria (Co.	-1000				•	小児人口あたり 時間外外来受診回数				
444			<b>乳児死亡率</b>					<b>乳児死亡</b> 率				
•		<b>幼児、</b>	小児死亡数·死亡原因·発生場所·死亡	場所	No.		•		幼児、	ト見死亡数・死亡原因・発生場所・死亡	<b>圳</b> 所	
4-		災害医療の提供体制に係る指針及び	指揮例との整合性に留意すること、			ストラクテヤー		災害時小児原産期リエソン任命者数 *5	災害医療の提供体制に係る指針及び	指標例との整合性に留意すること。	ini-vr-	10.14.00
は重点指揮)		\$m	元年度医生労働科学研究「晩草の宝樓	に応じた医療提供体制の維整を推進する	ための政策研究   研究報告書上り引用	(会は重点	(相傳)	亚雌	1 /会和元年度集生学最科学研究[	東庄経参の分化・連載や実庄の効率的	利用等のために必要となる実施可能な施設	iに関する研究(研究報告書よ

# 別表 11 在宅医療の体制構築に係る現状把握のための指標例

	退院支援		日常の療養支援			急変時の対応	看取り			
		退院支援担当者を配置している 診療所・病院数	•	訪問診療を実施している 診療所・病院数	•	住跡を実施している診療所・病院教	•	在宅看取り(ターミナルケア)を 実施している診療所・病院数		
	•	退院支援を実施している 診療所・病院数		小児の訪問診療を実施している 診療所・病院数			Γ			
		介護支援連携指導を実施している 診療所・病院数								
		退院時共同指導を実施している 診療所・病院数	•	訪問看匯事業所數、從事者數		在宅瘦譽後方支援病院		ターミナルケアを実施している 訪問看題ステーション数		
	退院後訪問指導を実施している 診療所・病院教			機能強化型の訪問看護ステーション教						
ストラク チャー				小児の訪問看護を実施している 訪問看護ステーション数	•	24時間体制を取っている 訪問着提ステーション数、従事者数				
				歯科訪問診療を実施している 診療所・病院数		/				
				在宅療養支援循科診療所数						
				訪問口腔衛生指導を実施している 診療所・典院数						
				在宅で活動する栄養サポートチーム (NST)と連携する歯科医療機関数						
				訪問薬剤指導を実施する 薬局・診療所・病院数						
		退院支援(退院調整)を受けた患者数	•	訪問診療を受けた患者数		往診を受けた患者数	•	在宅ターミナルケアを受けた患者		
ĺ		介護支援道携指導を受けた患者数		小児の訪問診療を受けた患者数			•	看取り数 (死亡診断のみの場合を含む)		
		退院時共同指導を受けた患者数		訪問歯科診療を受けた患者数				在宅死亡者数		
カセス		退院後訪問指揮を受けた息者数		歯科衛生士を帯局した 訪問歯科診療を受けた患者数			Г			
				訪問口腔衛生指導を受けた患者数						
			•	訪問看護利用者數						
				訪問業制管理指導を受けた者の数						
				小児の訪問看護利用者数						
'ウトカム							П			

(●は重点指揮)

令和元年度厚生労働科学研究「<u>地域の実情に応じた医療提供体制の構築を推進するための政策</u>研究」研究報告書より引用

割

# 別表 11 在宅医療の体制構築に係る現状把握のための指標例

		退院支援		日常の療養支援		急変時の対応		看取り
		退院支援担当者を配置している 診療所・病院教	•	訪問診療を実施している 診療所・病院数	•	往診を実施している診療所・病院数	•	在宅看取り(ターミナルケア)を 実施している診療所・病院数
	•	退院支援を実施している 診療所・病院数		小児の訪問診療を実施している 診療所・病院数				
		介護支援連携指導を実施している 診療所・病院数						
		退院時共同指導を実施している 診療所・病院数	•	訪問看護事業所數、從事者數		在宅療養後方支援病院		ターミナルケアを実施している 訪問看護ステーション数
		退院後訪問指導を実施している 診療所・病院数			-			
<u> </u>				小児の訪問看護を実施している 訪問看護ステーション数	0	24時間体制を取っている 訪問看護ステーション数、従事者数		
				歯科訪問診療を実施している 診療所・病院数				
				在宅產養支援債科診療所數				
				訪問口腔衛生指導を実施している 診療所・病院数				
				在宅で活動する栄養サポートチーム (NST)と連携する歯科医療機関数				
				訪問薬剤指導を実施する 薬局・診療所・実院教				
		退院支援(退院調整)を受けた患者数	•	訪問診療を受けた患者数		往診を受けた患者数	•	在宅ターミナルケアを受けた患者質
		介護支援連携指導を受けた患者数		小児の訪問診療を受けた患者数			•	看取り数 (死亡診断のみの場合を含む)
		退院時共同指揮を受けた患者数		訪問歯科診療を受けた患者数				在宅死亡者數
ブロセス		退院後訪問指導を受けた患者数		歯科衛生士を帯同した 動間歯科診療を受けた患者数			r	
>= LA				訪問口腔衛生指導を受けた患者数				
			0	訪問看護利用者數				
				訪問業剤管理指導を受けた者の数				
				小児の訪問者護利用者数			1	

(●は重点指揮)

平成31/令和元年度厚生労働科学研究「<u>無床機能の分化・連携や病床の効率的利用等のために必要となる実施可能な施策に関する</u>研究」研究報告書より引用